

山
陸

編集 山陰教区基幹運動推進委員会
発行 山陰教区教務所
〒900-0001 松江市大正町四三ノ一
本願寺山陰会館
TEL 〇八五二 四七四七
FAX 〇八五二 〇八三五
発行者 三 明 浄 信

二〇〇七（平成十九）年度 教区基推活動をふりかえって

山陰教区基幹運動推進委員会副会長
中央基幹運動推進委員

澤 田 隆 之

二〇〇六（平成十八）年度より改定された基幹運動総合基本計画は二〇一（平成二十三）年度までを期



寺院名物シリーズ⑩ 蓮師筆 香宝寺開基名号

当時の「世代略記」には、「開基廊道法師、俗性上杉兵部大輔出家して、伯州羽衣石城主南条家の祈願所慶相寺の住務たり。然るに心願ありて伊勢大神宮へ参詣之節、城州山科にて本願寺蓮如上人に謁し出離之要法を問答し終に弟子となり法名廊道と云。六字名号授与に預り永正元年（1504年）帰国し、浅津に閑居し名号を本尊とし時衆を導くと云々」とあり、大小一対の名号が二組現存している。

方に学び、すべての人々が、私と教団のあり方を見直し、一人ひとりの苦悩に共感するとともに、社会の現実に向きあつてあゆむことで、御同胞の社会の実現をめざす運動であるとされています。

このたびの改定基幹運動総合基本計画は『親鸞聖人七五〇回大遠忌についてのご消息』を体し、「ともにいのちかがやく世界へ」のスローガンのもと、組や寺院の活動を一層充実促進させ、非戦・平和、環境、人権など、さまざまな社会問題に積極的に関わりながら御同胞の社会を指そうとするものであります。

二〇〇七（平成十九）年度、私たち山陰教区基幹運動推進委員会においては、

- ① 総合計画の周知徹底
 - ② 「御同胞の願いにこたえる教学」に学ぶ
 - ③ 組織教化活動の活性化を促す
- この三点を重点項目に掲げ取り組みでまいりました。

では、部長、委員さんを中心に活発に活動され、順調に事業を推進していただいておりますが、取って、課題として一考すべきこととして挙げらるなら、その一つとして教区基幹運動推進委員会総会が五月中旬であり、これを受けての事業スタートは遅すぎはしないか。次に、前記にも関連することですが、例年開催されていた五ブロック基推連絡会に替る合同研修会が実施されました。しかし、縦に長く、地域特性にかなりの差がある五ブロックであればこそ、運動の具体化を図るためにもブロック毎の基推連絡会の必要性を強く感じたところです。

第三として、親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けたキッズサンガへの取り組みや、仏社の連盟化と会員増強への取り組みも容易なことではありません。特に教区相談員を中心に、その思いをバリアフリーの教化活動の推進に置いて、各教化団体の連携と運動参加を図るべく、一層の努力を続けていかなければならないと考えます。

まだまだ列挙すれば多くの反省すべき点もあることですが、五ブロック各々で、また組それぞれが地域性を活かし、運動を焦点化して、門信徒の皆さんと課題を共有した協働の活動を展開してゆくことの必要性を感じております。

委員等におかれ

仏壮拡大とキッズサンガ お寺再生に向けて新たな動きを

仏壮拡大専門委員会 本多 昭人

三年前のことですが、本山から各教区に向けて組織教化に関する二つの施策が発表されました。一つは「仏教壮年会の拡充」で平成二十三年の宗祖大遠忌法要までに五〇%の寺院に仏教壮年会を結成するというもの、もう一つは寺院を子どもたちの居場所にしようという「キッズ・サンガ」への取り組みを推進するものでした。

二つの施策を前に、「あまりに目録値が高すぎる」「少子高齢化の時代に、少年教化などとても無理」という否定的な声ばかりが聞こえてきました。そうした中、当教区では基幹運動推進委員会においてそれぞれ専門委員会が設置され、具体的計画を策定してこの難題に対応してきたのですが、丸二年が経過した今も反応は鈍いようです。

今のままでよいの？

たしかに仏壮活動や少年教化活動を新しくスタートするには、かなりのエネルギーが必要です。現在の寺院状況を考えますと、「わたしのお

寺ではとても無理」となるのもいたし方ないかも知れません。しかし、だからといって、今のままのお寺でよいの？…といわれると「何とかしなければ」と考えるご住職がほとんどです。

かつては黙っていても子どもたちがお寺に集まっていた。しかし今、お寺は子どもと無縁の場になり、子どもたちの親もお寺に足を運びません。若い世代の「お寺離れ」は深刻で、さらに十年後を考えると暗澹たる気持ちになってしまいます。

大遠忌以後を見すえて

私は仏壮拡大とキッズ・サンガを「ポスト大遠忌」を見据えた構想、つまりお寺を再生するための施策と考えています。三年後の大遠忌法要を目前に、子どもとその両親、さらに祖父母がお寺でふれあいの時を過ごす：そのような場になってこそお寺はよみがえり、お念仏も伝えられていくのです。

ご門徒の中の壮年男女の皆様が、地域の子どもたちに声をかけ、いっ

しよにお寺でひと時を過ごす。ご住職は場所を提供し、お勤めとお話を担当する。仏壮拡大とキッズ・サンガは、このような動きの中から芽

生えてくるといえそうです。「ちよつと手伝ってくれませんか？」まずはご門徒に声をかけてみてはいかがでしょうか。

教区寺族青年研修会に参加して

益田組 進徳寺 佐々木 白文



お勤めについて、日常勤行聖典をもとにお勤めの意義、仕方について基本的なことから分りやすく解説していただきました。

また、荘厳、作法については、多くの質疑応答がなされ、普段、疑問に思っていることなどいろいろご指導をいただきました。

研修後のご講師同席の懇親会においても、テーマは変わらず、参加者は大いに研鑽を深めたことと思えます。私自身も以前、勤式練習生研究生課程で教わったことを再認識させていただきました。

今回、参加者は二十名でしたが、再びこの「お勤め、荘厳、作法について」研修会が開催され、僧籍の有無を問わず多くの方々に参加していただきたいと感じました。

二月二十七日、本願寺山陰会館にて、山陰教区寺族青年研修会が開催されました。

ご講師には、山陰教区勤式指導員、小笠原弘之師をお迎えして、テーマ、「お勤め、荘厳、作法について」講義をいただきました。

教区門徒推進員・基幹運動推進研修会

問われる「男女共同参画」

二月十七日、出雲広域農業共済組合を会場に、一三九名の参加を得て研修会が開催された。研修内容は、「親鸞聖人七百五十回大遠忌についての消息」に学ぶ、「浄土真宗のみ教え」をテーマに連研専門委員会委員長北島清秀氏より講義をいただき、午後からは近年取り入れたパネルディスカッションである。

まず、特筆すべきことは、今研修会に僧侶が二名参加されたことである。「門信徒と僧侶の課題の共有」というのには程遠い数字だが、日曜日の開催を思うとありがたいことであつた。そして、時を同じくして刷り上がって配布された「会報・ともにしび」の記事に関連して、「男女共同参画」についてお尋ねがあつたことである。

三月現在、山陰教区の門徒推進員の登録者数は四八七名であるが、亡くなられたりご病気などで退会された方を除くと四二七名となる。そのうち男性が二五八名、女性が一六九名。かつては女性の役員もおられたようであるが、現在の役員は男性で占められている。

会則の上から見ると、各組の協議会から選出される委員は会員五〇名に対して一名であるが、二名以上選

「第十一回部落解放島根県講座」に参加

あらゆる差別の撤廃にむけて

出できる組は二組に止まっている。男性と女性が共に活動する唯一の団体でありながら、「男女共同参画」が具体化していないところに、人数的には全国屈指といつても、大きな課題を残していることを再認識することのできた研修会となつた。

一月三十一日、島根県民会館中ホールにおいて、部落解放同盟島根県連合会の主催により、標記講座が開講された。島根県内を対象にした行事ではあつたが、部落解放人権政策確立要求島根県実行委員会の副会長を教区内僧侶が務めていることもあつて、各方面にご案内をしたところ、僧侶並びに門徒推進員など二十名の参加をいただくことができた。また、参加してみると、市職員や教員をはじめ、顔見知つた真宗門徒の方々も多く参加しておられたことは喜びであつた。

かつて、ある差別事件の糾弾会に出席したことがあつたが、その時その周辺の僧侶が参加していないことを聞いて愕然としたことであつたが、すでに二十有余年の歳月を経て

いる。ところが、昨年末のある会議で、十二月四日から十日までの「人権週間」に行われた行政主催の研修会に、僧侶も門信徒も、その地域からは一人の参加がなかつたことが報告され、教区基幹運動推進に携わるものとして驚きを隠せなかつた。そうしたこともあつて、今回は広く案内状を発送したのであるが、短期間での募集しかできなかつた中で、二十名の参加は多いのか少ないのか。

教区単独で研修会を持つことがなかなかできない現状にある時、行政をはじめ、各地域で開催される人権学習などの研修会には積極的にご参加いただき、あらゆる差別撤廃にむけての学習を深めていただきたいと思います。切に思うことです。

御本山  用達

株式会社

川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社

 古田 佛具製作所

営業時間/午前9時より午後5時30分 定休日/日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)

TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836

http://www.furuta-butsumo.jp

教区基推婦人研修会 キッズサンガの願い



十二月十八日、基推委員、キッズサンガ委員などを加えて総勢一五二名。大田市民会館を会場に基推婦人研修会を開催した。テーマは「キッズサンガの願い」。元来同朋運動を課題に据えて行う研修であるが、参加対象者が寺族婦人、親婦人、若婦人であるとき、常に思い出されるのは「お念仏にかおる家庭をきずき仏の子どもを育てます」と謳われる仏婦綱領である。が、何やら空洞化してはいないかと疑問を呈する。事実、教区連盟登録の仏教婦人会は寺院の半数に達しているのに、少年連盟登

録の日曜学校や子ども会は、仏婦連盟に比して三分の一に止まっている。

そして近頃、ご法事などの仏事の席から子どもたちの姿が消えたような気がする。確かに小さな子どもたちには長時間おとなしくしてもらうことは不可能であり、それが来客や僧侶に対しての遠慮からのことであるのならば、それは御門違いというものであり、そのような意識が深層にあったから、お寺の法座からも次第に遠ざけられてきたのかもしれない。

かつて、国連の「子どもの権利条約」を批准するのに四年の歳月を要した日本という国においては、何事においても、子どもたちは「二の次の外に追いやられる。子どもたち一人としての人権を見出すことは、そして一人の門徒としての位置づけをしていくことは、何にも増した同朋運動の推進であろう。

ご講師松月博宣中央推進委員からの「子どもも門徒の一人です」の言葉は、私たちの気づかなかった視点を与えてくださったように思う。「キッズサンガの願い」、それはお念仏にかおる家庭や地域や社会を築くことに他ならないのです。

平成19年度ともしび法座開座表

開催組	開催寺院	法座名	開座日	出講講師
1	松江 蓮生寺	秋彼岸会	平成19年 9月19日(木)	集田 真生
2	々 願誓寺	々	◇ 9月19日(木)	々
3	々 福萬時	々	◇ 9月20日(金)	々
4	々 誓願寺	々	◇ 9月20日(金)	々
5	江津 専応寺	報恩講	◇ 11月2日(金)	小野 隆志
6	邑智西 浄蓮寺	報恩講	◇ 11月23日(金)	小原 静也
7	温泉津 浄林寺	報恩講	◇ 12月1日(土)	今田 善行
8	温泉津 金剛寺	報恩講	◇ 12月4日(火)	窪田 享信
9	鹿足組 了徳寺	御正忌報恩講	平成20年 1月17日(木)	小笠原義宣
10	千須賀 教永寺	彼岸会	平成20年 3月20日(木)	津村 顕照

本願寺山陰会館「燈映会常例法座」

各月13:30~(10月1日を除く)	組名	寺号	講師名	ブロック
平成20年	4月21日 月	大田 浄土寺	徳川真英	石東
	5月21日 水	千須賀 浄福寺	小玉教雄	邑智
	6月18日 水	鹿足 妙壽寺	村上 元	石西
	7月18日 金	飯石北 善徳寺	楠 縁人	出雲・鳥取
	8月21日 木	大家 福城寺	今田善行	石東
	9月19日 金	邑智西 西善寺	朝枝弘照	邑智
	10月21日 火	会館 落慶記念法要		
AM 10:00~ PM1:30~		未定		教区外
	11月	***休座***		
	12月19日 金	鹿足 善正寺	齋藤断城	石西
平成21年	1月21日 水	御正忌報恩講法座		
AM 10:00~ PM1:30~		安芸教区呉東 浄円寺	桑原浄昭	教区外
	2月20日 金	松江 西宗寺	高野顕信	出雲鳥取
	3月19日 木	大家 浄土寺	原田光生	石東

仏壇・寺院用品・製造・修復

報恩感謝

ぶつだんの

内田衷造商店

木次 ☎(0854)42-0266 下熊谷 ☎(0854)42-3711
出雲 ☎(0853)21-3253



Your Global Lifestyle Partner
株式会社JTB中国四国
松江支店

住所：島根県松江市菅田町180 原徳興産ビル2階
TEL：0852-23-2020(国内旅行) / 23-2024(海外旅行)
0852-23-6720(団体旅行)
FAX：0852-23-2023



念仏を子や孫に

山陰教区鹿足組々々長

須山 鈴 治

山陰教区の西のはて、山口教区との境に、益田市西端と津和野町全域、吉賀町の全域を含む広範囲に亘る地域に鹿足組があります。農山村地域で、過疎もかなり進んでいるところでもあります。

この地域は、旧津和野藩にあたり、明治初期に津和野藩主により排仏毀釈が行われ、神道を奨励されたところでもあります。それにより、仏壇が押入れのなかに隠されました。その名残はいたるところに見受けられます。

地域によっては、集団で神道に変わったところもあり、その地域をみると古い墓には法名が刻まれていたと聞きました。今はほとんどが納骨式の墓に変わってしまったのでその墓石も無くなったとのことです。また集落が集団で仏壇を河原に集めて焼き払ったとも聞かされました。

藩主によって勧められた神道への転換は農民にとっては辛いものであったことは、仏壇を押し入れに隠してでも念仏を守ったことで容易に理解できます。

日常生活のなかにも神道の影響を受けていることも多くあります



し、また、この地域には、他宗派の寺院も数多くあり、数としては真宗寺院とほぼ同じくらいで、真宗門徒の内に物の考え方などに大変大きな影響がもたらされています。

このような環境の中で、伝道教

化を一生懸命進め、本来の真宗門徒の姿にと、組内寺院それぞれの活動を展開してきました。しかし組全体での活動だけでは、こここの実情にうまく対応できないことから組内を四ブロックへ吉賀ブロック・日原ブロック・津和野ブロック・益田ブロックに分割し、その地域に沿った対応をしようと各ブロック毎に活動しています。

基幹運動では、本来の真宗門徒としてのありかた等を各方面から取り上げての取り組みを実施しています。

今年度の総代研修会では、安芸教区の福岡玄猷先生を講師に、大西弦英氏のミニライブを交えて「開かれたお寺」をテーマに、寺を取り囲む今・昔を考えて、これからどのように取り組むかを話し合いました。

また、「念仏と平和」をテーマに、松江市の寺井敏夫氏を講師に、BC級戦犯として処刑せられた福原勲大尉の正信偈との出会いから処刑せられるまでの様子を聴かせていただき、平和問題について話し合いをいたしました。

お仏壇・仏具はやっぱり京都…



創業 天保元年(1830年)

伝統工芸 京仏壇・京仏具

若林

京都本社 / 〒600-8218
京都市下京区七条新町東入
☎(075) 371-3131(代)

東京店 / 〒146-0081
東京都大田区仲池上2丁目8-13
☎(03) 3755-8488(代)

近江草津店 / ☎(077) 564-1011
築地店 / ☎(03) 3546-8228(代)

札幌店 / ☎(011) 512-3455(代)

仙台店 / ☎(022) 213-0666(代)

福岡営業所 / ☎(092) 761-3737(代)

フリーダイヤル(各店共通) / ☎0120-37-8585
ホームページ <http://www.wakabayashi.co.jp>
Eメール info@wakabayashi.co.jp

京仏壇京仏具・お仏具ご修復 ご本堂内装・お納骨壇



創業 安永4年(西暦1775年)

京 仏 具 小 堀

<http://www.kobori.co.jp/>

本店 / 〒600-8159 京都市下京区烏丸通正面上る
TEL (075) 341-4121(代) FAX (075) 341-4128
☎(本店) 0120-27-9595 (受付時間9:00~19:00)
Eメール(本店) info@kobori.co.jp 無料冊子をどうぞ

東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房
お仏壇専用サイト Yahoo! Shopping ストア-小堀 <http://store.yahoo.co.jp/kobori/>
京仏壇・京仏具の製作現場をご覧ください。

ご希望の方は、事前に本店へお申し込みください

八月三十・三十一日に備後教区担当でグランティア福山にて青年布教使研修会が開催され、私はこの度初めて参加させて頂きました。例年参加者は担当教区以外の教区は十名前後と聞いていましたが、今回山陰は十八名の方が参加され全体で九十五名となり、熱気あふれる研修会となりました。一日目は三カ所に分かれて、それぞれ

三名の方が布教実演を行い、二日目は、東京仏教学院講師の西原祐治先生を迎え、「親鸞様の魅力を現代に」と題し、今の社会に向かつてどうすれば魅力を伝えていけるか、地域や社会との関わり方をさまざまな角度から紹介されご講義くださいました。

今回、布教実演者の一人に私が指名されました。二十分という決められた時間の中、諸先輩に見守られながら取り次ぎさせて頂くことは大変緊張しましたが、何物にも換えられない貴重な経験をさせて戴きました。時間内に法話をするこのの難しさ、思っていた以上に話すことができないもどかしさ、話すことに精一杯で周りを

見渡せなかったことなど、終わってから反省・後悔の繰り返しでした。実演後、各教区の副団長から講評を戴くのですが、私のできていない所・足りない点、話し方など厳しくも温かくご指導いただいたことは、これから伝道布教に邁進していくときの宝物を頂いたようでありました。特に自分ではまったく

第4連区 青年布教使研修会に参加して

佐波組 浄土寺 西原真公

気が付かない箇所を指摘されたことは何よりも有難いことです。

年を重ねるごとに良くなる社会で、いつの間にか自分勝手な思いや行動をしてしまう私に、研鑽の場ではあります。研鑽の場ではあります。研鑽の場ではあります。研鑽の場ではあります。

ます。

来年度の青年布教使研修会は山陰教区が担当となります。研修会終了後、その場で来年に向けて会議がありました。そして委員会を立ち上げ、只今企画進行中であり、私もある研修会になるよう努めていく所存であります。

山陰教区ホームページ一覧

2008 (平成20) 年3月1日現在

山陰教区	http://www.saninkyoku.net
松江組 明宗寺	http://www.myoshuji.or.jp/
松江組 順光寺	http://www.junkouji.net
神門組 西楽寺	http://www.sairakuji.com
飯石北組 飯石北組	http://www.iishikita.jp/
大田組 西楽寺	http://www16.plala.or.jp/sairakuji/shokai.html
仁摩組 龍善寺	http://nima.nima-cho.ne.jp/~tatsuno/
仁摩組 長泉寺	http://blog.goo.ne.jp/cloud48
温泉津組 温泉津組	http://www.age.tc/~yunotuso/
温泉津組 西楽寺	http://www.imacoco.net
温泉津組 安楽寺	http://www.iwami.or.jp/umd/saichi/
温泉津組 法久寺	http://www.izumo-net.ne.jp/~houkyuji/
温泉津組 瑞光寺	http://zuikouji.parfe.jp/
福屋組 浄光寺	http://user.iwamicatv.jp/jokoji/
福屋組 正蓮寺	http://fish.miracle.ne.jp/shorenji
福屋組 西楽寺	http://www1.megaegg.ne.jp/~sairaku/form.htm
因幡組 浄宗寺	http://www.siunzan.net/

仕事は、明るく前向きに。モットーは、「よく笑い、よく食べる」。教務所職員として、早一年。皆様の温かいご指導のおかげで少しずつ成長することができた一年でした。お腹も「成長」しました。久しぶりにお会いしたご門徒さんにお会いしたご門徒さん「あなた、よう肥えたね。去年と別人だね。」

と言われる始末。目下ダイエット中です。時代は、ネット社会。ホームページ作成の過程では、ネットを通じたご縁に遇うことができました。

二〇〇八(平成二十)年の山陰妙好人カレンダーに、浅原才市さんのことがあります。「南無阿彌陀仏が目に見えぬ大きなご恩で目に見えぬ」様々なご縁に支えられて今の私があるのだと思えば、今日も宗務(&ダイエット)にいそしんでおります。(JN)

親鸞聖人750回大遠忌法要記念作品
アニメDVD・VHSビデオ

親鸞さま

ねがい、そして ひかり。

今だから感じてほしい。
750年前からのメッセージ。

親鸞さま：小林 桂樹
法然聖人：石田 太郎
恵信尼さま：島本 須美
「風の谷のナウシカ」のナウシカ役
ナレーション：竹下 景子
主題歌：辛島 美登里
「きっとまた会えるね」

DVD・VHS 共
時間/108分
税込価格 ¥3,990 (本体 ¥3,800)

送料無料で

©2008 HONGWANJI

本願寺出版社 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル (西本願寺) 0120-464-583 FAX 075-341-7753

先般(二月二十日)、気持ちの整理が付かぬまま、キッズサンガ・サポーター研修会に参加しました。というのも、さも新しい発想の如く横文字で示されたこの会に違和感を持っていくからである。

既に日校・仏青・スカウト、夏にはサマースクール等、寺族・仏婦・地域が一体となって活動している所は多々ある。斯くいう私の寺も、日校開校二十五年、サマースクール四十五年である。

できるお寺はいいの、できない所をサポートしたい、という会の趣旨は承知している。しかし、私のお寺を例に出すまでもなく、当山陰だけでなく、過疎地に点在する多くのお寺では、日校活動が難しくなってきたのではなかいか。とにかく子どもがいない。何をどう逆立ちしてみても、これだけは如何ともしがたい。

私のお寺では、日校開校時二十一人の子どもが集まったが、現在



は、ほぼ開店休業状態。また、サマースクールも多い時は百人を超える参加者があったが、今は二十人集まれば御の字という有様である。そんな中、なぜ今キッズサンガなのか? 発想として、最低でも二十三年遅れてはいまいか? 今の子ども親世代(三〜四十代)をほって置いて、さあキッズサンガだ、と

高声に叫んでみても、親が子どもを寺に行かせないのではないか。キッズどころか、最近ではオールドサンガすらあやしくなっているような状態である。ではあるが、今回の研修会に参加して最大の収穫は、若い世代(二〜三十代)の住職・僧侶方の真摯な姿勢である。なんとかしなければ、という危機感が伝わって来た。今世紀半ばまで宗門を支えるであろう彼らの態度に、明るい未来を感じつつ、私も固まりかけた思考を奮い起こさねば、と思つた次第である。

編集後記

教区報「山陰」一一〇号をお届けいたします。ご覧ください▼早いもので年度末を迎えました。親鸞聖人七百五十回大遠忌に向けて宗門長期振興計画・山陰教区基幹運動推進計画が策定され今年度の事業が消化されたわけですが、如何ともその数の多さには目が回りそうです。振興・推進計画の実行には専門委員を置き、一人ひとりが熱を持って活動を展開中です▼振興計画にある「次代を担う人の育成」―キッズサンガーをうけ、先日サポーター研修会が開催されました。中央研修を受けたアドバタイザーの青年僧侶が中心となり、時折冷や汗をかきながらも熱弁を揮う姿には受講側の戸惑いはあつたものの、その必要性が伝えられました▼凡その内容は仏婦・仏壯・地域等を巻き込んだ活動で、一寺院で無理があれば中央で研修を受けたアドバタイザーが各寺院・各組へ出向し支援してくれます。ただ、手探り状態ゆえ、全組・全ヶ寺での取組みにはまだ少しの時間が必要みたいです▼組内に子供が「ゼロ」ではあるまい。あとはどのように取組むのか自分自身を見つめ直すご縁となりました。(MT)

……ともに いのち かがやく 世界へ……

「大遠忌法要」の団体参拝の計画は
「念仏奉仕団」お気軽にご相談下さい。

……旅のことならどんな事でも……



近畿日本ツアーズ(株)山陰支店

〒690-0887 松江市殿町171番地(県庁前) 島根石油ビル1F
(国土交通大臣登録旅行業第20号)

ここにこ 山陰さんぽん
☎(0852) 22-4893